

市内児童生徒数の推移と見込みをお知らせします

市教育委員会は、市内小中学校の児童生徒数の過去 10 年間の推移と、令和 8 (2026) 年度までの児童生徒数を推計して取りまとめました。

全国的な少子高齢化の傾向と同じく、本市でもこの 10 年間で児童生徒数は大きく減少し、今後も引き続き減少していく見込みです。

急速な子どもの減少を踏まえ、児童生徒にとって望ましい学習環境を提供することを第一に考えながら、適正な学校規模や学区の在り方を早急に検討していきます。

1 児童生徒の推移と見込み

	実績値 平成 22 (2010) 年度	実績値 令和 2 (2020) 年度	推計値 令和 8 (2026) 年度
小学生	4,566 人	3,659 人 (▲907 人)	3,127 人 (▲532 人)
中学生	2,291 人	1,739 人 (▲552 人)	1,744 人 (+5 人)
合計	6,857 人	5,398 人 (▲1,459 人)	4,871 人 (▲527 人)

※令和 8 (2026) 年度中学生は柏崎翔洋中等教育学校進学者を含む。

2 今後の取り組みの方向性 (予定)

- (1) 「学区等審議会」の立ち上げを視野に入れながら、教育委員会内に統廃合や学区の見直しを検討するプロジェクトチームを立ち上げる。
- (2) 市民などへの周知方法を検討する。
- (3) 中学校の部活動の拠点化に引き続き取り組んでいく。
- (4) 上記事項を踏まえ、学校統廃合のロードマップを策定する。